



# つつじが丘

教育目標 ゆたかなまなび たのしいなかま げんきなからだ  
重点目標 とともに高め合う 七谷っ子

加茂市立七谷小学校  
学校より  
令和元年10月15日  
No. 436号

<http://www.ginzado.ne.jp/~7tnj-k/>  
e-mail [k-7tni@educet.plala.or.jp](mailto:k-7tni@educet.plala.or.jp)

## 挑戦しよう自己ベスト！ 七谷っ子「校内マラソン大会」の頑張り

9月27日、雲一つ無い青空の下、マラソン大会が開催されました。これまで子どもたちは、自分の記録を向上させようと、体育の時間やチャレンジタイム（20分休みの5分間走）に練習を頑張ってきました。晴れの日の練習コースは「心臓破りの坂」とも言える、坂を100mほど駆け上がるところがあります。どの子も一生懸命走って上るのですが、さすがに苦しい場所です。

マラソン大会のある週、七谷保育園の子どもたちが週末に行われる運動会に向けて、小学校の体育館を借りて練習していました。保育園の子どもたちが練習を終え、バスに乗って帰る時間、チャレンジタイムが始まりました。保育園の先生方が、

「応援するよ！」

と、心臓破りの坂の終わりの玄関を位置取り、走ってくる子どもたちに声を掛けてくださいました。

「〇〇ちゃん、はやーい！」

「〇〇ちゃん、がんばって～！」

七谷っ子が小さいときから面倒を見ていただいている先生方です。応援の仕方が具体的で、積極的です。もちろん、小さな後輩たちも声を掛けます。

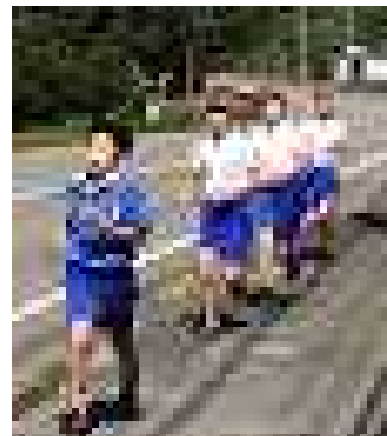
「がんばれ～！ガンバレ～！」

の大合唱です。これは、頑張らざるをえません。へとへとになって上がってきた坂の後にもかかわらず、猛ダッシュで駆け抜けていきます。「応援の力はすごい！」改めて感じたできごとでした。

大会当日は、七谷保育園、高柳保育園の皆さんの応援はもちろん、保護者、地域の方々の熱い応援のお陰で、子どもたちはどの子も精一杯の頑張りを見せてくれました。七谷っ子のよさをまた、見つけることができました。当日お手伝いいただいたPTA厚生部の皆様、ありがとうございました。お陰様で無事に終わることができました。

学年	距離	男子(タイム)	女子(タイム)
1年	800m	高野 樹(3'45)	茂野 千尋(3'54)
2年	800m	泉田 陽翔(3'46)	坂井 徠奈(3'24)☆
3年	1,300m	福井 奏人(5'39)☆	小柳 結花(6'28)
4年	1,300m	阿部 太陽(6'16)	鶴巻 日菜(5'54)
5年	1,800m	坂上 惺也(8'01)	岡橋 彩(8'09)
6年	1,800m	西潟 大翔(7'39)	佐野 百花(7'38)

☆は大会新記録です。



# 七谷小学校120周年記念事業 「思い出をつなぐ」VI

※原稿掲載はランダムです。ご了承ください。

## 思い出の小学校時代

昭和45年度卒業生 小柳 一男

昭和38年の入学当時の制服は、学生服、学生ズボン、学生帽、靴はランドセル、歩きの集団登校。帰りは同級生2～3人での道草しながらの帰り道、時折、車が近付いてくると後ろを振り向き、乗せてくれないかと淡い期待を持っていた6年間でした。当時、道は狭く、曲がりくねった坂道。

冬の凍った朝は、田んぼの上を「凍み渡り」しながら近道での登校もありました。

運動会は、小中合同での開催で、応援団は中学生が主体になり、昼休みになると、小学校の体育館と中庭に分かれての応援練習が中学生のもとで始まります。音の出る物は、缶詰の空き缶で、三三七拍子！

高学年になると、鼓笛隊の練習が始まり、大小の太鼓、鉄琴、シンバルなどは数人で、その他は縦笛で、運動会の午後最初、鼓笛隊の行進が始まります。とても緊張した時間が思い出されます。



## 子どもたちの活躍



### 第55回加茂市・田上町児童生徒科学研究発表会

- 3年長谷川憲人「ありの好きな食べ物調べ」
- 4年鶴巻 日菜「かたくり粉を作ろう」
- 5年小林 美羽「一番おいしいきゅうりの漬け方」
- 6年西潟 大翔「十円玉をきれいにする方法」

### 新潟県競書大会

- 準特選 2年 山崎総一郎 鶴巻 初音
- 6年 佐野 百花

### 第43回児童防火ポスター

- 佳作 5年 岡橋 彩
- 6年 難波 心
- 吉田 捺希
- 渡辺 大雅

### 加茂市花と緑をいっぱいにする会

- 花壇・プランターコンクール
- 優秀賞

## 全国学力・学習状況調査から

全国学力・学習状況調査の結果は、国語・算数とも全国平均を上回っていました。特に、考えを記述する問題がよくできていました。学校では、先生方が「自分の考えをまとめたり発表したりする活動」を授業の中に積極的に入れるよう工夫されています。その成果が現れたようです。もちろん理解が不十分なところもあります。夏季休業中に正答率が低かった問題を分析し、改善の手立てを検討しました。

また、「自分には、よいところがあると思いますか」「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことはありますか」「人が困っているときは、進んで助けていますか」など、自己肯定感・自己有用感についての問いについても、全国平均を上回っていました。学校と地域・保護者の皆様で子どもを育む七谷のよさを感じます。今後とも、一層のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

